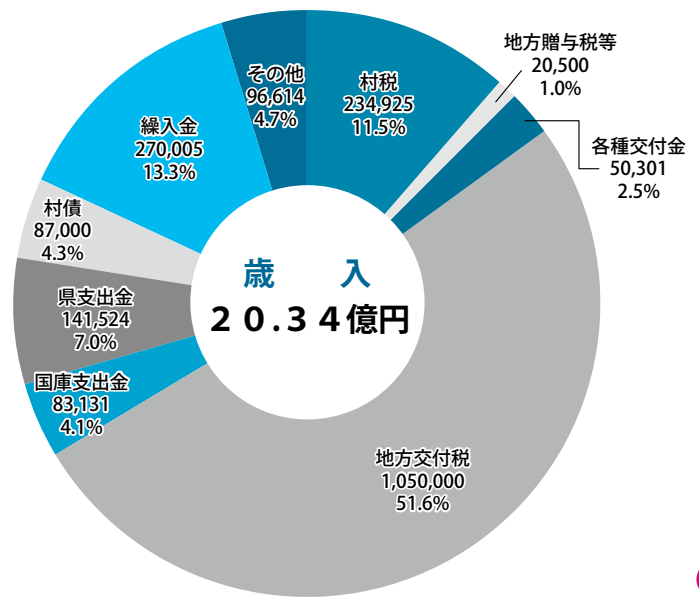
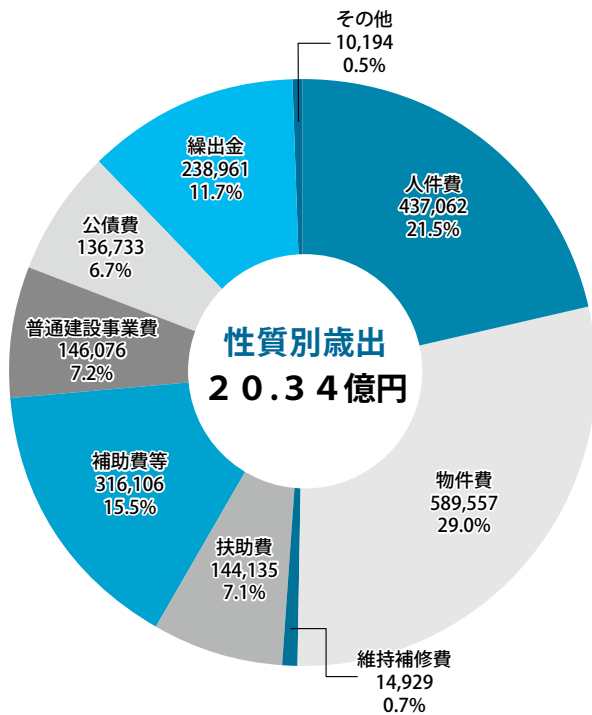


一般会計予算の状況



【歳出】

村職員の減少により人件費等が減少になったものの、多くの科目で昨年度より増額となりました。原因として、子どもたちがより良い環境で学ぶことができるよう学校教育の充実を図るための投資や地籍調査の業務を速やかに遂行する上での委託料等が考えられます。

【歳入】

村独自の収入で成り立つ「自主財源」と、国や県に頼った「依存財源」が歳入にはあります。「自主財源」が多いほど、村独自のサービスを行えたり、将来に向けて積み立てができたりと村行政の安定と自主性が確立できますが、本村は「自主財源」が全体の31%で、「依存財源」が依然として大半を占めている状況です。

【特別会計】

村では、一般会計とは別に特定の事業を行う場合、そこから発生する特定の収入を支出に充てて独立してやりくりする特別会計があります。5つの特別会計の予算総額は10億5,780万円で、前年度と比較して1,570万円の減額になりました。

【主要事業】

2019年度は、昨年同様「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、事業を進めていきます。定住促進のための事業を大きく展開し、移住体験施設の管理業務を行っていきます。また、生活・環境面のごみ収集業務の日数を増やし、住民の暮らしやすさをサポートします。本年度予算は、支援のできる体制を築いていくことに力をいれます。